

**クラウド発展会計
業績管理レポート
出カマニュアル**

日本ビズアップ株式会社

目次

1. 業績管理レポート

・ サンプル帳票

2. 初期設定

① 決算診断科目マスタ登録

② 予算登録

3. 出力方法

4. 解説動画

業績管理レポートの開発コンセプト・
説明方法を解説した動画はコチラ

作成者：株式会社 カタリスタ 代表取締役
社長 飯島彰仁氏

URL : <https://youtu.be/J4b5I5oud7I>

QRコード：



1. 業績管理レポート

内容

F2-2推移表、F8-4財務分析メニューに業績管理レポート機能をリリースしました。
予実比較グラフ・年計グラフ・損益実績体系図表・変動損益計算書・CF計算書・資金別貸借対照表

メニュー: ゴールドマン2 (AAQ16222)

会計年度: 2023年1~12月
足立 様

F1 会計業務 | F2 財務データ | F3 決算処理 | F4 管理会計 | F5 税務連携 | F6 各種伝票 | F7 初期導入期首残高 | F8 経営者チェックポ... | F9 オプション1 | F10 オプション2 | F12 終了

F2-1 財務諸表	F2-2 推移表	F2-3 部門別・予算実績	F2-4 経営指標・レポート
合計残高試算表	▶ 月次残高推移表	▶ 部門実績比較表	▶ 資金繰実績表(前年対比)
前年同月対比表	▶ 総合推移表	▶ 部門実績2期比較表	▶ 資金繰実績表(総合推移)
3期比較表	▶ 補助残高推移表	▶ 予算登録	▶ 経営分析マスタ登録
5期比較表	▶ 売上高推移表	▶ 月次予算書	▶ Management Letter
比較変動損益計算書	▶ 経費推移表	▶ 予算実績対比表	▶ 経営指標分析表
要約変動損益計算書	▶ 月次貸借残高推移表	▶ 予算データ取込	▶ 月次会計レポート(Exc...)
		▶ 損益予測(Excel)	▶ 月次会計レポート(PDF)
要約試算表	▶ 管理帳票	▶ 予算登録	▶ 当期業績レポート
	▶ 業績管理レポート	▶ 予算書	▶ 予算達成度分析レポート
5期比較表グラフ	▶ 資金繰予算登録	▶ 予算データ取込	▶ 予算実績対比表
	▶ 資金繰予算データ取込		

F6 各種伝票 | F7 初期導入期首残高 | F8 経営者チェックポイント | F9 オプション1 | F10 オプション2 | F12 終了

F8-3 資金分析	F8-4 財務分析
▶ 当期資金分析	▶ 月次会計レポート(Excel)
▶ C/F実績比較表	▶ 月次会計レポート(PDF)
▶ 資金繰実績表(前年対比)	▶ 経営指標分析表
▶ 資金繰実績表(総合推移)	▶ 決算診断(一般・PDF)
▶ 【資金運用分析】	▶ 損益予測(Excel)
▶ 資金運用表	▶ 業績管理レポート
▶ 比較貸借対照表	
▶ 貸借対照表期首残比較表	

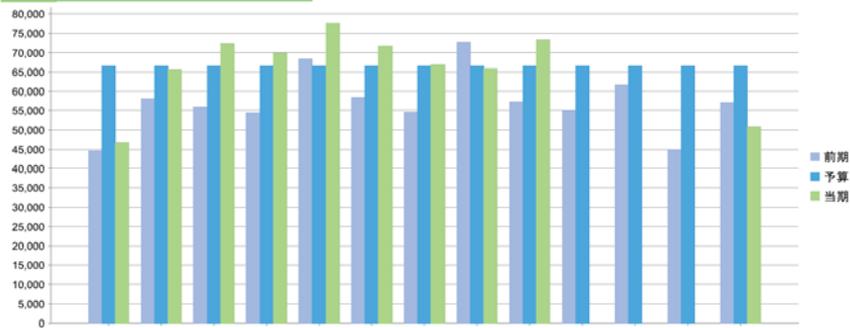
※メニューが表示されていない場合は、
会計事務所メニュー> 担当者登録> アクセス権限
をご確認ください

1. 業績管理レポート サンプル

01 売上高予算実績比較グラフ

社内 110%

デモ2 (レポート)
2023年04月 ~ 2024年03月



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
当期	46,871	63,720	72,188	69,891	77,718	71,828	66,817	65,778	73,253	0	0	0	50,822	608,859
予算対比	70.2%	98.9%	108.6%	105.1%	116.9%	108.0%	100.5%	98.9%	110.2%	-	-	-	76.4%	76.4%
予算	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	66,481	797,776
前年対比	104.5%	113.2%	129.1%	128.6%	113.7%	122.8%	122.6%	90.7%	128.0%	-	-	-	88.9%	88.9%
前期	44,664	58,071	55,914	54,355	68,324	58,469	54,512	72,549	57,214	55,079	61,552	45,004	57,142	685,706

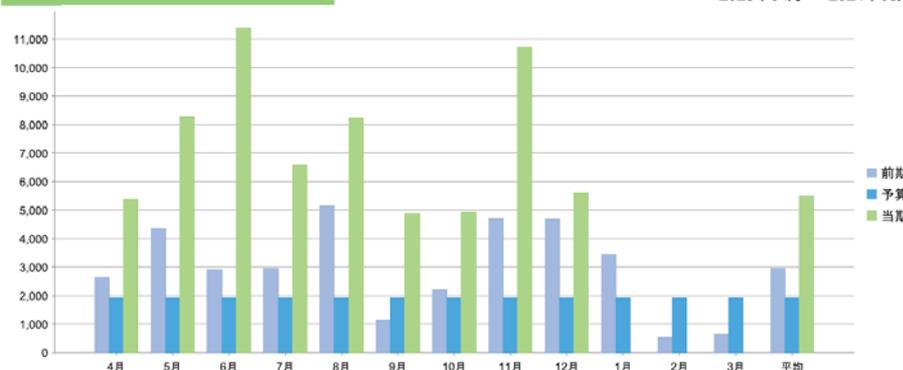
(決算仕訳を含む) 税関 (単位: 千円)

1

03 経常損益予算実績比較グラフ

社内 110%

デモ2 (レポート)
2023年04月 ~ 2024年03月



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
当期	5,366	8,282	11,393	6,577	8,241	4,878	4,925	10,706	5,595	0	0	0	5,497	65,964
予算対比	278.5%	429.8%	591.3%	341.3%	427.7%	253.2%	255.6%	555.6%	290.4%	-	-	-	285.3%	285.3%
予算	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	1,927	23,122
前年対比	203.8%	189.4%	390.9%	223.2%	159.7%	426.7%	221.5%	226.8%	119.6%	-	-	-	186.2%	186.2%
前期	2,633	4,372	2,914	2,946	5,162	1,143	2,224	4,721	4,678	3,459	533	651	2,953	35,435

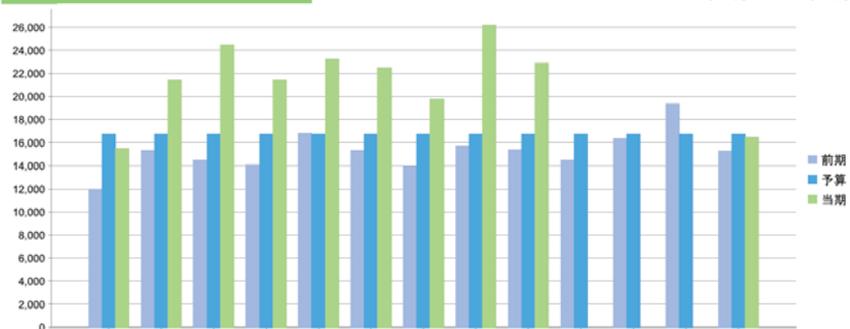
(決算仕訳を含む) 税関 (単位: 千円)

3

02 限界利益予算実績比較グラフ

社内 110%

デモ2 (レポート)
2023年04月 ~ 2024年03月



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
当期	15,502	21,413	24,468	21,407	23,226	22,478	19,779	25,205	22,886	0	0	0	16,447	197,365
予算対比	92.6%	127.9%	146.1%	127.8%	138.7%	134.2%	118.1%	156.5%	136.7%	-	-	-	98.2%	98.2%
予算	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	16,746	200,949
前年対比	129.5%	139.9%	169.3%	152.3%	138.0%	141.6%	166.6%	148.8%	107.7%	-	-	-	107.7%	107.7%
前期	11,974	15,311	14,454	14,053	16,826	15,327	13,954	15,728	15,376	14,488	16,321	19,348	15,264	183,170

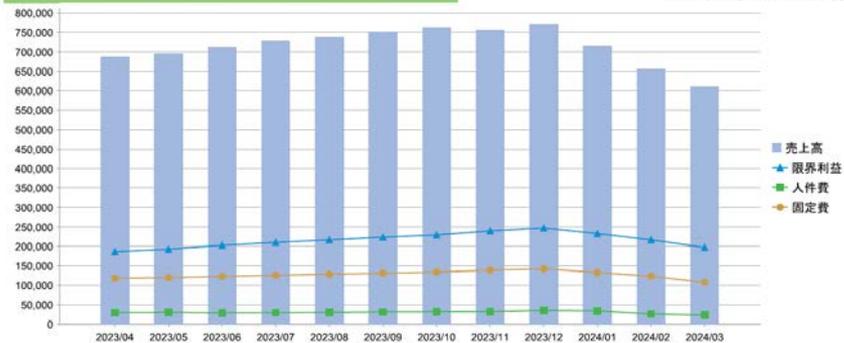
(決算仕訳を含む) 税関 (単位: 千円)

2

1. 業績管理レポート サンプル

04 年計グラフ(売上高・限界利益・固定費)

デモ2 (レポート)
2023年04月～2024年03月



	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03	平均	合計
売上高	687,713	695,362	711,836	727,171	736,585	748,824	762,229	755,456	771,483	716,414	654,863	609,859	714,890	8,578,688
限界利益	186,699	192,801	202,815	210,169	216,570	223,721	229,536	240,013	247,522	233,033	216,713	197,365	216,413	2,596,956
人件費	29,706	30,259	28,870	29,528	30,090	31,344	31,925	32,344	35,489	34,096	28,227	23,213	30,255	363,062
固定費	118,452	119,896	122,826	125,885	128,460	131,137	133,691	138,853	142,274	132,802	123,518	107,592	127,116	1,525,386

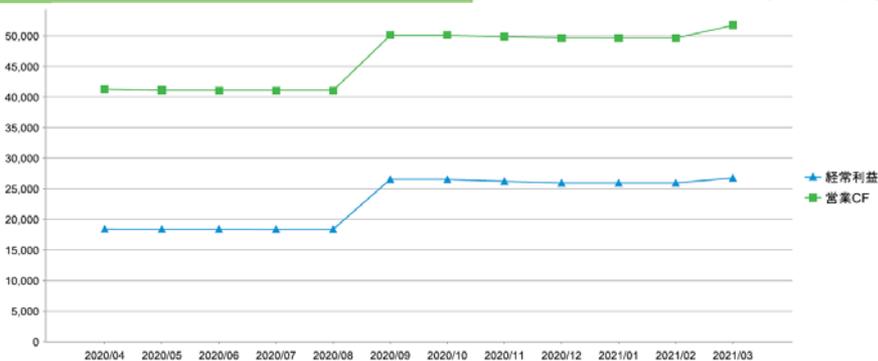
(決算仕訳を含む) (単位:千円)

注:年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することが出来ます。

4

05 年計グラフ(経常利益・営業キャッシュフロー)

デモ
2020年04月～2021年03月



	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	平均	合計
経常利益	18,423	18,410	18,388	18,387	18,376	26,547	26,538	26,226	25,957	25,960	25,963	26,772	22,996	275,958
営業CF	41,288	41,106	41,101	41,096	41,092	50,088	50,084	49,873	49,895	49,645	49,654	51,723	46,370	556,445

(決算仕訳を含む) (単位:千円)

注:年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することが出来ます。

5

06 資金力アップグラフ(将来稼ぐべき資金)

デモ2 (レポート)
2023年04月～2024年03月



	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02	2024/03
現金金	134,597	126,324	130,543	119,041	259,757	254,303	161,710	117,422	108,503	108,503	108,503	108,503
短期借入金	80,000	80,000	80,000	80,000	120,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
長期借入金	243,309	240,248	237,187	234,126	330,232	326,338	222,888	221,136	219,384	219,384	219,384	219,384
将来稼ぐべき資金	-188,712	-193,924	-186,643	-195,084	-190,475	-192,035	-181,177	-183,714	-190,881	-190,881	-190,881	-190,881

(決算仕訳を含む) (単位:千円)

6

1. 業績管理レポート サンプル

07 損益実績体系図表

デモ2 (レポート)
2023年04月 ~ 2024年03月

売上高 (PQ) 609,859千円 変動費 (VQ) 412,494千円 変動比率(V) 67.6%	変動費 (VQ) 412,494千円 VQ: VariableQuantity 数量比例のあるもの(仕入・材料費・外注費) ・仕入単価交渉、仕入先の絞り込み、仕入過多になっていないか。 ・入札制度はやっていませんか？ ・売りたい商品を売る。商品別販売計画を作る。 ・売上が増えなくても限界利益率の高い商品を売れば限界利益率が上がり、限界利益額が増える。
売上=客単価(P)×客数(Q) P: Price 客単価【商品力】 (付加価値の高いものを売る) Q: Quantity 商品数・顧客【営業力】 m: margin 限界利益率【商品力】	限界利益 (MQ) 197,365千円 固定費 (F) FixedCoat 131,401千円 コストではなく投資費用。FがMQを作りGを生む。
限界利益率(m) 32.4% m率の高い業種は、Qアップ戦略 m率の低い業種は、Pアップ戦略	損益分岐点比率 $F \div MQ$ 66.6% 生産性 $MQ \div F$ 1.5倍 経営安全率 $G \div MQ$ 33.4%
売上高が10%減少したというのは、Pが10%下落したのか、Qが10%下落したのかによりGが大きく変わる 現在の客数 = (既存顧客-脱落数-スリープ) × リピート率 + 新規客数 最も重要な要素は新規客ではなく「リピート率」 PQアップは資金を減少させる。 売上を伸ばしながら利益と資金を増やす。	人 67,241千円 (労働生産性) 19,736千円/人 (労働分配率) 34.1% モノ 59,892千円 金利 3,061千円 未来 1,208千円
売上高経常利益率(g) 10.8%	経常利益 (G) 65,964千円 全社員の創造性の総和

G	経常利益	全社員の創造性の総和である。社員の創造性が一番大事。(現場に近い逆ピラミッドの組織) 社員の創造性は「気づき」掃除で身に付く。
人	人件費	人件費はコストではなく、幸せを求めて働く社員たちの労働の対価。 人を活かしMQを稼ぎ、労働生産性を高め、給料を上げる。
モノ	経費	もう節約できるところは本当にありませんか？人件費以外の経費は最小化を目指す。
金利	金利	制度融資の借入等を利用して金利の低いものに切り替える努力をしていますか？
未来	戦略費・広告・教育・研究開発	経営には積極的な&強気の仕掛けが常に必要。

経営指標の目安	ROA(総資本経常利益率) = 総資本回転率 × 売上高経常利益率 理想 10% 目標 5% (効率性) (総資産を少なくする経営。総資本回転率は通常1回転、目標1.5回転、理想は2.5回転以上)
	自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産 (B/Sの目的) 理想 60%以上 最低限 30% (安全性) (利益を出すことではなく総資産を少なくすること)
	持続力指数 = ①ROA × ②自己資本比率 理想 600以上 ①10% × ②60% (持続性) (効率性) (安全性) 目標 300以上 ①6% × ②50% 最低限 150以上 ①5% × ②30%
	売上高経常利益率 = 経常利益 ÷ 売上高 (P/Aの目的) 限界利益率50%の会社 理想 10% 目標 5% 限界利益率25%の会社 理想 5% 目標 2.5% 限界利益率10%の会社 理想 2% 目標 1%
	損益分岐点比率 = 固定費 ÷ 限界利益額 理想 80%以下 目標 90%以下 (収益性)
生産性(経営力) = 限界利益額 ÷ 固定費 (事業競争力の評価) 理想 1.25倍以上 目標 1.11倍以上	

経営安全率 ... $G \div MQ$ 売上必要倍率 ... $\Delta G \div MQ$ 経営安全率の意味は、売上高の減少に耐えられるかではなく、販売数量の減少に耐えられるかである。	値決めは経営なり。トップが決める。 コストを基準に価格を付けない。商品の価値で価格をすべき。理想の値段とはお客様が許してくれる範囲の最高の値段。
--	--

労働分配率 ... 人件費 ÷ MQ 労働分配率とは人件費を限界利益額の一部割合に押し込む「賃金の生産性の指標」ではなく、事業経営そのものの効率を社長に教えてくれるもの
労働生産性 ... MQ ÷ 平均社員数 人件費、労働時間 経営者が人を活かしきっていますか 現場力こそが【社員力】
適正社員数 ... MQ ÷ 労働生産性 適正社員数、必要社員数は労働生産性が決める
※必要なMQ (限界利益額) は製造業は年間1人当たり1,000万円以上、非製造業は800万円以上が目安

損益分岐点比率	生産性	評価	未来・事業競争力
60%未満	1.66倍超	SS	超優良企業。経営に十分な余裕あり。
60%~80%	1.25倍~1.66倍	S	優良企業。少し余裕あり。抜群の競争力がある。
81%~90%	1.1倍~1.24倍	A	健全企業。未来が明るい。優秀な競争力がある。
91%~100%	1.0倍~1.09倍	B	損益分岐点企業。全く油断不可。普通の競争力がある。
101%~200%	0.5倍~0.99倍	C	赤字企業。未来が危ない事業。存続に問題あり。
201%以上	0.5倍未満	D	倒産企業。社長交代。

(決算仕訳を含む 税抜) (単位:千円)

1. 業績管理レポート サンプル

10 キャッシュフロー計算書 (当月)

デモ
2021年03月

キャッシュフローを理解する目的は、「お金の残し方」を学ぶこと、
当期損益が利益は何処へ消えたか？ 今月の利益とお金の違いを知ることである

利益は会計方針の違いで変わるが、キャッシュフローは企業の真の實力を測る

(単位: 百万円)

営業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期純利益	3.2
減価償却費	1.1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0.0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0.0
受取利息及び受取配当金	△0.0
支払利息及び割引料	0.0
有価証券売却損益(△は益)	0.0
投資有価証券売却損益(△は益)	0.0
固定資産売却損益(△は益)	0.0
固定資産売却額	0.0
売上債権の増減額(△は増加)	2.6
繰上債の増減額(△は増加)	0.0
その他有価証券の増減額(△は増加)	0.0
仕入債権の増減額(△は減少)	△5.7
未払費用の増減額(△は減少)	0.0
未払消費税等の増減額(△は減少)	0.8
割引手形の増減額(△は減少)	1.8
その他有価証券の増減額(△は減少)	0.0
役員賞与支払額	0.0
(小計)	4.0
利息及び配当金の受取額	0.0
利息及び割引料の支払額	△0.0
法人税等の支払額	△1.6
その他有価証券の増減額(△は減少)	0.0
① 営業活動により調達した純キャッシュ	2.4
*「益」を「お金」に近づける努力をする	

投資活動によるキャッシュフロー	
有価証券の増加(減少)額	0.0
固定資産の増加(減少)額	0.0
投資有価証券の増加(減少)額	0.0
短期貸付金の増減額	0.0
有価証券売却損益(△は減少)	0.0
その他投資活動の増減額(△は減少)	0.0
② 投資活動に使用した純キャッシュ	0.0

③ フリーキャッシュフロー (純現金収支) ①+②

フリーキャッシュフローは「現金の出入りで見た純粋な儲け」
赤字なら有利子負債を増やさなければならぬ
「現金を持って残らさず」になっていませんか？

財務活動によるキャッシュフロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	0.0
長期借入による収入	0.0
長期借入金の返済による支出	△0.2
株式の発行による収入	0.0
配当金の支払額	0.0
その他財務活動の増減額(△は減少)	0.0
④ 財務活動に使用した純キャッシュ	△0.2

⑤ 当期の現金の増減額 ①+④

ダム計算とは、「お金のことを念じて走り回っていたのでは良い仕事ができないから
お金をしっかり残さないと」といふこと

月初の現金残高	261.2
月末の現金残高	263.4

(決算仕訳を含む 概観) (単位: 百万円)

10

11 キャッシュフロー計算書 (累計)

デモ
2020年04月 ~ 2021年03月

キャッシュフローを理解する目的は、「お金の残し方」を学ぶこと、
今期損益が利益は何処へ消えたか？ 今期の利益とお金の違いを知ることである

利益は会計方針の違いで変わるが、キャッシュフローは企業の真の實力を測る

(単位: 百万円)

営業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期純利益	51.6
減価償却費	1.2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0.0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0.0
受取利息及び受取配当金	△0.0
支払利息及び割引料	0.0
有価証券売却損益(△は益)	0.0
投資有価証券売却損益(△は益)	0.0
固定資産売却損益(△は益)	0.0
固定資産売却額	0.0
売上債権の増減額(△は増加)	△4.3
繰上債の増減額(△は増加)	0.0
その他有価証券の増減額(△は増加)	△0.0
仕入債権の増減額(△は減少)	5.2
未払費用の増減額(△は減少)	2.3
未払消費税等の増減額(△は減少)	2.3
割引手形の増減額(△は減少)	1.8
その他有価証券の増減額(△は減少)	0.0
役員賞与支払額	0.0
(小計)	57.7
利息及び配当金の受取額	0.0
利息及び割引料の支払額	△0.7
法人税等の支払額	△0.9
その他有価証券の増減額(△は減少)	0.0
① 営業活動により調達した純キャッシュ	51.7
*「益」を「お金」に近づける努力をする	

投資活動によるキャッシュフロー	
有価証券の増加(減少)額	0.0
固定資産の増加(減少)額	0.0
投資有価証券の増加(減少)額	0.0
短期貸付金の増減額	0.0
有価証券売却損益(△は減少)	0.0
その他投資活動の増減額(△は減少)	0.0
② 投資活動に使用した純キャッシュ	0.0

③ フリーキャッシュフロー (純現金収支) ①+②

フリーキャッシュフローは「現金の出入りで見た純粋な儲け」
赤字なら有利子負債を増やさなければならぬ
「現金を持って残らさず」になっていませんか？

財務活動によるキャッシュフロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1.5
長期借入による収入	10.0
長期借入金の返済による支出	△2.5
株式の発行による収入	0.0
配当金の支払額	0.0
その他財務活動の増減額(△は減少)	0.0
④ 財務活動に使用した純キャッシュ	9.0

⑤ 当期の現金の増減額 ①+④

ダム計算とは、「お金のことを念じて走り回っていたのでは良い仕事ができないから
お金をしっかり残さないと」といふこと

期首の現金残高	202.7
期末の現金残高	263.4

(決算仕訳を含む 概観) (単位: 百万円)

11

12 資金別貸借対照表

デモ
2020年04月 ~ 2021年03月

資金別貸借対照表の目的は、「貸借対照表で残ったお金のどこに消えたかを知ることで、財務体質の改善策をイメージすること」

人間は記憶力によって、どこか思いがけずわかり、返済を忘れれる。総額もどこのバランスのつか、返済するわけわきりず、資金不足の原因はどこにあるのか？ どこに返済の余地があるのか？

2019年04月 ~ 2020年03月

期首	前期	増減	当期末
現金	168.6	47.4	216.0
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	0.0	15.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	168.6	62.4	231.0
現金	168.6	47.4	216.0
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	0.0	15.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	168.6	62.4	231.0

2020年04月 ~ 2021年03月

期首	前期	増減	当期末
現金	216.0	56.9	272.9
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	15.0	0.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	231.0	56.9	287.9
現金	216.0	56.9	272.9
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	15.0	0.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	231.0	56.9	287.9

資金別貸借対照表は、B/S、P/L、キャッシュフロー計算書と一緒に見ていく。

現金を多くし、借入を少なくするのは中長期的目標。必ず実現したい返済計画を策定する必要があります。そのための返済計画が必要です。

(決算仕訳を含む 概観) (単位: 百万円)

12

13 NEW 資金別貸借対照表

デモ
2020年04月 ~ 2021年03月

「損益資金」が増えれば、「営業損益資金」や「安定資金」が増えれば、財務体質は改善される。残った利益(損益資金)がどこに消えたかを知ることで、財務体質の改善策が打てる。

2019年04月 ~ 2020年03月

期首	前期	増減	当期末
現金	168.6	47.4	216.0
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	0.0	15.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	168.6	62.4	231.0
現金	168.6	47.4	216.0
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	0.0	15.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	168.6	62.4	231.0

2020年04月 ~ 2021年03月

期首	前期	増減	当期末
現金	216.0	56.9	272.9
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	15.0	0.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	231.0	56.9	287.9
現金	216.0	56.9	272.9
短期貸付金	0.0	0.0	0.0
長期貸付金	0.0	0.0	0.0
短期借入金	15.0	0.0	15.0
長期借入金	0.0	0.0	0.0
総計	231.0	56.9	287.9

(決算仕訳を含む 概観) (単位: 百万円)

13

2. 初期設定 ① 決算診断科目マスタ登録

内容

F4-1決算診断科目マスタにおいて、集計項目への紐づけが未設定の科目がある場合（科目マスタで変動比率を設定した科目がある場合など）、集計項目の科目紐づけを行います。

決算診断科目マスタ登録

表示

貸借対照表分析_資産の部

青字項目は、合計項目のため
科目の関連付けは出来ません

名称	科目数
流動資産	
現金・預金	6
医薬未収金	1
未収金	
有価証券	1
医薬品	1
診療材料	1
貯蔵品	2
短期貸付金	3
仮払金	1
未収収益	1
仮払消費税	1
前払費用	1
繰延税金資産	
その他流動資産	5
貸倒引当金	1
固定資産	
有形固定資産	
建物	1
建物附属設備	1
構築物	1
医療用機械備品	1
その他の器械備品	1
車輜船舶	1
その他の有形固定資産	4
土地	1

集計対象科目

現金
窓口現金
当座預金
普通預金
定期預金
定期積立

未設定科目

ABC銀行
ABC銀行(厚生年金)
その他未収入金
現金過不足
リース資産
預託金

未設定科目チェック

F1
ヘルプ

F7
リセット

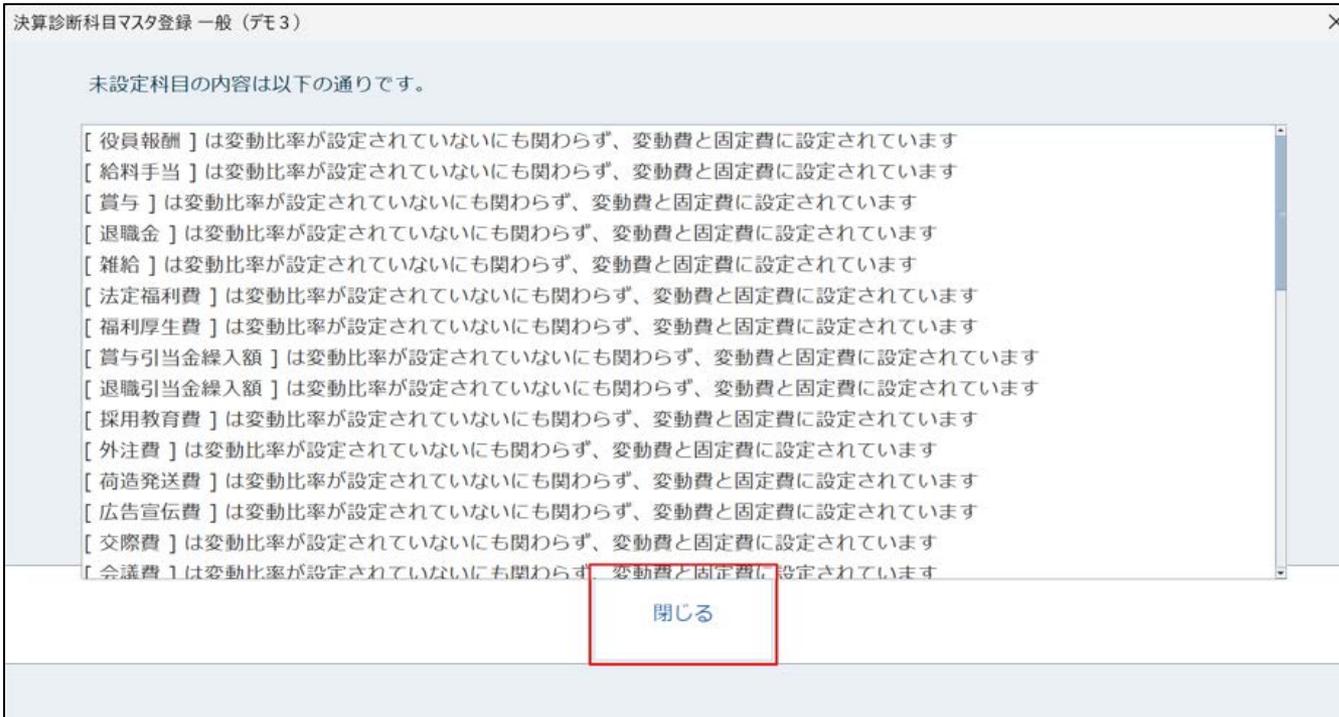
F8
登録

F12
終了

2. 初期設定 ①決算診断科目マスタ登録

内容

下図エラーが出る場合、変動費・固定費に関する設定が不十分ですので、ヘルプをご参照の上、設定を行ってください。



決算診断科目マスタ登録 ヘルプ

<http://help.bizup.jp/BZ/kg/f04/10010604>

> 決算診断科目マスタの内容を設定する[損益計算書分析「変動費」と「固定費」の場合]

3. 出力方法

内容

業績管理レポートを出力します。

F2-2推移表 もしくは F8-4財務分析 > 業績管理レポート

期間・円単位・予算パターン・部門別に出力等を選択し、F6PDF出力を押下します。

F8-4 財務分析

月次会計レポート(Excel)

月次会計レポート(PDF)

経営指標分析表

決算診断(一般・PDF)

損益予測(Excel)

業績管理レポート

印刷条件 ゴールドマン2-業績管理レポート

業績管理レポート

期間

決算仕訳 含む 含まない

2024年1月~12月

5 月度

税込で集計 税抜で集計

キャッシュフロー計算書

千円単位 百万円単位

資金別貸借対照表

千円単位 百万円単位

部門別に出力 全社

- 全社
- 本社
- 関西支社
- 福岡支社
- 製造工場
- 共通

予算パターン

社内用120%

F6 PDF出力

F7 条件リセット

F1 ヘルプ

F12 終了